

パナソニック製宅配ボックス エネジンは代理販売 個人宅中心に

LPガス販売のエネジン（浜松市）はパナソニックと業務提携し、同社の宅配ボックスの代理販売を始めた。ガスや電気の事業で築いたネットワークを生かし、個人宅を中心に販売する。新型コロナウイルス下でインターネット通販などの利用が増えるなか、非対面で荷物を受け取る手段として高まる需要を取り込む。

戸建て住宅向けの宅配ボックス「コンボライト」の取り扱いを始めた。強度の高い樹脂製で、受け取れる荷物の大きさが31×40×50センチまで20センチまでの中型と、31×40×70センチで25センチまでの大型がある。色は6色を用意した。特別な工事は不要で消費者が1人でも設置できるという。



メンテナンスも
エネジンが担う

ガス会社への販売委託はパナソニックにとって珍しいという。価格は税別3万9800円から。5月までは割引キャンペーンを実施する。年間1000台の販売を目指す。

2021年（令和3年）2月23日（火）日経新聞